

兵庫県・ワシントン州姉妹提携60周年共同声明

日本国兵庫県とアメリカ合衆国ワシントン州は、1963年10月22日、姉妹提携を締結して以来、教育、文化、経済等の幅広い分野で友好関係を築きあげてきた。

この間、兵庫県ワシントン州事務所の設置、兵庫県内の11市町とワシントン州内の13市との姉妹都市協定の締結と友好交流活動の実施、姉妹高校交流、大学間交流などによる文化・経済活動の推進等様々な分野の交流の成果が両州の結びつきを確固たるものにしてきた。

本年2023年は、このような特別な姉妹提携の成立から60周年を迎える。この記念すべき年に、兵庫県から知事をはじめとする友好訪問団が、ワシントン州での記念行事に参加し、ワシントン州民とともに60周年を祝する。

両州は、人類共通の脅威である気候変動をはじめ、大規模災害、感染症等の疾病などの諸課題に取り組むことが重要であるとの認識を共有し、人と人との草の根交流を原点とする国際交流において、経済、文化、教育、環境、防災などの分野にわたる交流が多様な課題を解決し、世界平和にも貢献するとの認識を新たにしました。

これらの認識の下、60年にわたる交流実績を踏まえ、世界の平和と両州州の一層の繁栄を願いつつ、下記の基本方針に沿って、相互交流をさらに充実させることに合意した。

記

- 1 両州は、引き続き、経済、文化、観光、教育その他各種の交流活動の推進に努力するとともに、各分野の交流を担う自治体、教育機関、民間団体、市民などの主体的かつ自主的な友好交流活動を、積極的に奨励、支援する。
- 2 両州は、気候変動、クリーンエネルギーへの移行、防災等地球規模の課題の解決に向けて、世界の他の自治体との連携も図りつつ、相互に協力する。
- 3 両州は、それぞれの経済発展に資するため、両州の経済界とともに、交易・投資のさらなる拡大やスタートアップ及び起業家等の相互連携など、国際経済交流の促進に協力する。
- 4 両州は、県内市の市町による姉妹都市交流活動を支援するとともに、姉妹マリーナ提携に基づく職員派遣研修、教育分野の友好協定に基づく兵庫県立高校の教員派遣研修、女性活躍推進に向けた交流を行うなど、多分野の交流活動を積極的に推進する。

5 両州は、相互訪問を通じた住民の交流機会の増加に資するため、大阪・関西万博および2026 FIFAワールドカップを機に、さらなる誘客促進による観光交流に協力するとともに、関西・シアトル空港間の直行便再開に向けて努力を行う。

6 両州は、相互の学術・研究交流の促進に向けて、神戸大学、兵庫県立大学をはじめとする県内の大学とワシントン大学、エバークグリーン大学をはじめとする州内の大学、兵庫自治学会と全米公共・行政学会エバークグリーン支部の交流を支援するなど、研究者、留学生の交流プログラムの充実を図る。

以上のことを確認し、2023年9月13日、兵庫県友好訪問団及びワシントン州関係者出席のもとに、本共同声明に署名する。

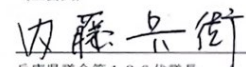


兵庫県知事
齋藤 元彦



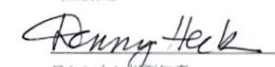
ワシントン州知事
ジェイ インズリー

(立会人)



兵庫県議会第126代議長
内藤 兵衛

(立会人)



ワシントン州副知事
デニー ヘック